

履修証明プログラム 保護者支援力養成コース 日程表

月	日	曜日	科目	コマ数	時間数	授業時間	授業形態	会場	担当教員
5	10	土	開講式・オリエンテーション			8:45~9:00	対面	H101	村上知子
			保護者支援技術演習	3	4.5	9:00~14:30	対面	H101	米川祥子
5	21	水	保護者支援・子育て支援 (保護者支援・子育て支援の意義)	2	3	13:00~16:10	ZOOM		米川祥子
6	4	水	保護者支援・子育て支援 (保護者に対する相談援助)	2	3	13:00~16:10	ZOOM		米川祥子
6	24	火	保護者支援・子育て支援 (地域における子育て支援)	2	3	13:00~16:10	ZOOM		柴田英登
7	8	火	保護者支援・子育て支援 (虐待予防)	2	3	13:00~16:10	ZOOM		柴田英登
7	19	土	保護者支援技術演習	3	4.5	9:00~14:30	対面	H101	中村明成
8	23	土	保護者支援研究	3	4.5	9:00~14:30	対面	H101	米川祥子 竹田亜裕美
9	6	土	教育相談	2	3	9:00~12:10	対面	H101	米川祥子
			子ども家庭支援の心理学	2	3	13:00~16:10	対面	H101	柴田英登
9	10	水	保護者支援・子育て支援 (関係機関との連携・専門職との連携)	2	3	13:00~16:10	ZOOM		中村明成
10	25	土	子ども家庭支援の心理学	2	3	9:00~12:10	対面	H101	柴田英登
			教育相談	2	3	13:00~16:10	対面	H101	米川祥子
11	8	土	教育相談	2	3	9:00~12:10	対面	H101	米川祥子
			子ども家庭支援の心理学	2	3	13:00~16:10	対面	H101	柴田英登
12	13	土	子ども家庭支援の心理学	2	3	9:00~12:10	対面	H101	柴田英登
			教育相談	2	3	13:00~16:10	対面	H101	米川祥子
1	17	土	保護者支援研究	3	4.5	9:00~14:30	対面	H101	中村明成 改田陽子
2	14	土	保護者支援技術演習	2	3	9:00~12:10	対面	H101	ガート・ウェ スタハウト
2	21	土	保護者支援研究	2	3	9:00~12:10	対面	H101	ガート・ウェ スタハウト
			閉講式			12:15~12:30	対面	H101	村上知子

※「保護者支援・子育て支援」はキャリア・アップ対応科目です。(科目名の下は授業内容)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、履修方法を変更する場合があります。

※上記、5科目を履修し試験に合格する必要があります。

※上記の授業時間の中には、授業と授業の間は10分間の休憩、昼食休憩は50分が含まれています。

※日程の中で、出席できない日がある場合はご相談ください。

<科目概要>

科目	授業の目的・テーマ
<p>保護者支援・子育て支援 (キャリア・アップ対応)</p>	<p>保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言・指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p>
<p>教育相談 (希望者はピア・ヘルパーの資格を取得することができ、それを基礎資格として、初級教育カウンセラーの資格を取得することもできる。)</p>	<p>発達を理解した上で子どもへの援助のあり方や、保護者への対応を踏まえた子育て支援について理解できるとともに、基礎的な相談技術(ピアヘルピングや子ども・保護者・保育者それぞれの立場で理解しようとする姿勢)を身につけることができる。また、教育相談活動と専門家との連携について理解する。</p>
<p>子ども家庭支援の心理学</p>	<p>保育者が担う役割のひとつに「保護者支援」「家庭支援」がある。その支援を有効に行うためには、子どもについての知識はもちろん、家庭・家族にはさまざまな形やそれぞれの事情があることも理解しておく必要がある。そして子どもは家族との関わりを通して発達していく。この講義では、子どもを見つめる視点に加え、子どもと関わる家族、さらには家族を取り巻く社会までを見つめる視点を養うことを目的とする。</p>
<p>保護者支援技術演習</p>	<p>本授業では、「乳児保育」「国際理解」「障害児保育」の3つの柱を通して、保護者支援力の育成を目的としている。まず、「乳児保育」においては、子育てにおいて「乳児保育」の需要が高まり、それに伴い、乳児保育の充実が求められている。そのため、0・1・2歳児の発達に則した対応(養護や遊び環境)や子育て支援、保護者支援の理解を深める。また、「国際理解」においては、外国にルーツを持つ子どもの入園が増え、言葉や文化の違いからくる保護者対応が大きな課題になっている。そのため、世界中のさまざまな習慣や教育システムについて学び、日本の子どもと混合または外国の遺産を持つ子どもの保護者支援についての理解を深める。そして、「障害児保育」では、障害のある子どもや発達の遅れ、発達に気がかりな子どもも含めて、その子どもを理解し、また保護者に対してもどのような配慮や支援が必要か、様々な事例を通して学ぶ。 本学の特化の授業に参加し、学生と共に学ぶ日もある。</p>
<p>保護者支援研究</p>	<p>本授業では、保護者支援技術演習の学びを通して、「乳児保育」「国際理解」「障害児保育」の3つの柱の学びを深め、保護者支援力を育成することを目的としている。「乳児保育」では、乳児保育には欠かせない子育て支援、保護者支援や保育ソーシャルワークについての学びを深める。「国際理解」では、外国にルーツをもつ子どもの保護者の文化と宗教を元に、国際理解を深め保護者支援力の育成を目指す。また、「障害児保育」では、障害のある子どもや発達の遅れ、発達に気がかりな子どもも含めて、その子どもを理解し、また保護者に対してもどのような配慮や支援が必要か、様々な事例を通して学ぶ。</p>